

凸版印刷、LGBTQ への取り組みを評価する「PRIDE 指標」にて 最高ランクの「ゴールド」を受賞

同性婚と事実婚も適用とした配偶者関連制度などが高く評価

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、「社会的価値創造企業」へのさらなる進化を目指し、「ダイバーシティ&インクルージョン」を重要な経営戦略の一つと位置付け、「行動指針」にもこれを定め誰もが働きやすい職場環境の実現を進めています。その取り組みの一つとして、LGBTQ への理解促進や制度の拡充などを進めてきたことにより、このたびLGBTQ などの性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞しました。

「PRIDE 指標」は、職場における LGBTQ に関する取り組みの評価指標であり、LGBTQ の方が自分らしく働ける職場づくりを進めるための施策を社会に広めることを目的に設立された任意団体「work with Pride」が 2016 年に策定したものです。LGBTQ に関する取り組みを「Policy : 行動宣言」「Representation : 当事者コミュニティ」「Inspiration : 啓発活動」「Development : 人事制度、プログラム」「Engagement/Empowerment : 社会貢献・渉外活動」の 5 つの評価指標に分類し、企業や団体は各指標の獲得点数により「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の 3 段階で評価・表彰されます。

work with Pride

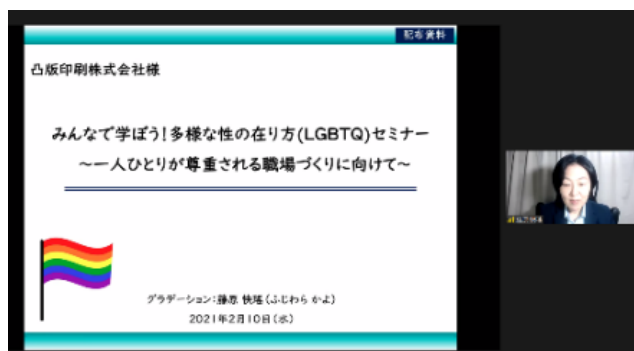


「PRIDE 指標 2021」認定ロゴマーク

■ LGBTQ への取り組み

凸版印刷は、「人間尊重」「企業は人なり」という信念のもと、「人財」を起点とした様々な施策を実施してきました。その一つとして、LGBTQ への理解を促し、誰もが働きやすい職場環境を実現するための取り組みを進めています。2018 年より、グループ全体に向けた LGBTQ セミナーを開催し、正しい理解と「ダイバーシティ&インクルージョン」の推進を強化しています。また、2020 年 7 月から同性パートナーや事実婚パートナーにも配偶者関連制度を適用することとし、同性パートナーや事実婚パートナーを配偶者とする従業員も慶弔休暇や諸手当、結婚祝い品などの社内制度を利用できることになり、制度面からも従業員の多様な生き方を支えています。

また、基本的な知識やハラスメント防止、性の多様性への理解を深めるため、LGBTQ に焦点を当てた全社員必須教育の実施や、人事総務向けの研修も行っています。また、「TOPPAN ALLY」(※1) 表明も募り、誰もが生きやすい環境を一人ひとりが意識してつくっていかうという活動もスタートしました。



藤原快瑠氏によるLGBTQ セミナー
© TOPPAN INC.



「TOPPAN ALLY」マーク
© TOPPAN INC.

凸版印刷「ダイバーシティ&インクルージョン」サイト

<https://www.toppan.co.jp/sustainability/social/diversity.html>

凸版印刷はこれからも、多様な人財が個々の属性や価値観の違いを認め尊重し合い、さらに、多様な人財の能力を生かし互いに高め合うことで、違いを変革の原動力に変える「ダイバーシティ&インクルージョン」を実現していきます。

※1 「TOPPAN ALLY」

トッパングループにおいて多様な性のあり方や職場の多様性に理解と共感を持ち、誰もが働きやすい職場環境に繋げようという意識・行動を心掛ける人たちのこと

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上